

根っこりん



イチゴの発根促進・ランナー発生促進
定植苗の充実・樹勢回復に!!

根の発育を促す**コリン**を含有しています。
根量が増加し、充実したイチゴ苗を作ることができます。

■ 使用時期と得られる効果

育苗初期：親株のランナー発生を促し、苗数の確保に

育苗中期：根量を増加させ、子苗の充実に

育苗後期：高温期の根傷み回復、本圃での活着促進に

250倍で2回以上葉面散布してください!!

(500ℓのタンクに2kgを1本)

成分 (%)

窒素全量	水溶性りん酸	水溶性加里
1.5	5.0	3.0



包装：2kg 20kg



根っこりん



「根っこりん」散布による効果事例

福岡県
あまおう

親株に根っこりんを5回葉面散布※30ml/株/回
(散布日: 5/2・11・18・25、6/3)

1株あたりのランナーの平均発生本数



無処理区: 8本



根っこりん区: 9.75本

ランナーの発生が増えた。
太郎苗の生育が早い。

試験結果

親株が充実し、
子苗の生育・
葉の展開が
早くなった。

撮影日: 5/25
(3回散布後)

熊本県
ゆうべに

育苗期に根っこりんを2回葉面散布※15ml/株/回
(散布日: 切り離し前の7/23・28)



無処理区

根っこりん区



無処理区

根っこりん区

クラウン径・・・6.1mm

7.5mm

葉数・・・・・・3.4枚

3.9枚

※調査数: 5株平均

試験結果

株の充実が早くなり、
高温による障害も受けにくかった。

根っこりんの商品紹介、
効果事例はこちらでも
ご確認いただけます!!



注意

- ・石灰硫黄合剤と混合すると有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないこと。
- ・目に入らぬように注意し、もし目に入った場合はすぐに水で十分に洗い流してください。
- ・高温で日照の強い時など、不適と考えられる条件での散布は、避けてください。早朝もしくは夕刻の涼しい時に散布してください。
- ・高湿で散布後の液剤が乾燥しにくい時や樹勢の弱い圃場では、散布をひかえてください。
- ・塊根への光合成産物蓄積を促進する作用により、地上部の黄化を伴う場合がありますが、問題ありません。
- ・うすめた液はその日のうちに使い切ってください。
- ・直射日光を避け涼しい所に保管してください。
- ・沈殿物や結晶を生じることがありますので、よく振ってお使いください。
- ・詳しい使い方については、JAまたは農業技術指導機関にご相談ください。